

小 児 科 学

1 担当教員名

【研究指導教授】 教授 奥村 彰久

【科目担当者】 教授（特任） 伊藤 嘉規

2 教育目標

(1) ねらい

- 学生は、小児科疾患、特に小児の神経疾患・感染症について、その病態生理を理解する。
- 学生は上記の疾患を中心に、それに対する研究手法を理解する。
- 学生は上記の疾患について研究するための基本的な実験手技を習得する。

(2) 学修の到達目標

- ① 学生は、小児の神経疾患・感染症の病態生理を説明できる。
- ② 学生は、研究手法を習得するための講義および演習に自発的に参加できる
- ③ 学生は基本的な実験手技、特にサンガー法・ELISA・PCR法などの汎用性が高い手技を実施できる

3 授業内容

【講義】	小児科疾患の病態生理およびその研究の現況について、教科書や最新の文献を用いて解説する。また、今後の展望や問題点について討論する。
【演習】	小児科疾患における文献や教科書を用い、研究方法について討論を行う。サンガー法・ELISA・PCR法などの実験に参加し、手法について習熟する。
【実験研究】	教員から与えられたテーマについて、教員の指導の下に実験計画を立案する。実験計画に基づいて研究を実施し、その成果をプレゼンテーションする。

4 成績評価の方法・基準

- 論文の要点を教員にプレゼンテーションし、口頭試問を行う。プレゼンテーションの内容および口頭試問への回答が適切である場合に合格とする。
- 研究手技に関する講義および演習後に、習得した研究手技に関するレポートを提出する。研究手技に対する理解度を教員が評価し、理解が十分であると判断した場合に合格とする。
- 研究成果を教員にプレゼンテーションし、口頭試問を行う。また、プレゼンテーション内容に関するレポートを提出する。教員は口頭試問とレポートとを総合的に評価し、成果が十分であると判断した場合に合格とする。

5 教科書・参考図書

- Swaiman's Pediatric Neurology: Principles and Practice. Swaiman KF, et al. editors. Elsevier 2017
- Feigin and Cherry's Textbook of Pediatric Infectious Diseases (8th Edition) : James Cherry, et al. editors. Elsevier 2018

6 準備学習(予習, 復習等)及び必要な時間

講義・演習の前にはそれぞれの課題に関連する文献などを読む必要がある。

また、プレゼンテーションを行う場合にはその準備が必要である。

1 週間当たり 7～10 時間の予習・復習が望ましい。

7 課程修了・学位授与方針と当該授業科目の関連

教員から与えられた課題に関する研究を実行して論文を作成することにより、小児科疾患に対する論理的な思考力を身につける。また、研究を計画して実行することにより、小児科疾患に対する研究を自ら実践する力を身につける。

8 課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法

レポートについては教員と面接で討論することにより、フィードバックを行う。

内容が不十分である場合は、再提出を求めることがある。

9 履修上の留意点

特になし

10 オフィスアワー

職名	氏名	曜日	時間帯	場所	連絡先
教授	奥村彰久	火	16:00～17:00	C棟7階教授室	内線 22387
		金	15:00～16:00		
教授(特任)	伊藤嘉規	火	16:00～17:00	C棟10階医局	内線 22149
		水	16:00～17:00		